

## INFORMATION



新館長あいさつ  
田中公弘 新館長

令和2年6月1日付けで  
鹿児島市維新ふるさと館の  
館長に就任いたしました。

鹿児島市維新ふるさと館は、鹿児島市の歴史観光の拠点として、幕末・明治維新时期の歴史について「楽しく分かりやすく」紹介し、県内外の観光客に対する情報の発信や市民の皆様にとって郷土の歴史を学ぶ身近な施設として、感じていただけるよう、既存の西郷南洲顕彰館や尚古集成館などの施設、各種団体等との連携も図りながら、今後も本市の観光発展に貢献するため、努めてまいります。

皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 夏季開館時間延長のお知らせ

8月13日(木)～16日(日)は開館時間を18時まで  
延長いたします。(入館は17時30分まで)

## 温故地新

ふる故きを温ね、地元を新たに。



### ①「維新への道」／約25分

幕末から明治にかけての歴史の流れを音や光、  
口ボット等、多彩な演出によって解説するドラマです。

### ■維新体感ホール ドラマ上演再開

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止していたドラマ上演は通常1日13回、定員132名から1日7回、定員66名に上演回数・入場人数を減らして上演を再開しております。お客様にはマスクの着用と、手指消毒のご協力をいただいております。

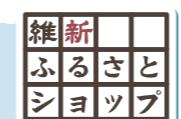


### ②「薩摩スチュードント、西へ」／約20分

薩摩藩が鎖国時代にいち早く海外に目を向け、  
英國へ留学生を派遣した様子をダイナミックに再現したドラマです。

時 間	9:15～9:40	10:20～10:45	11:00～11:20	13:25～13:45	14:00～14:25	15:15～15:40	15:55～16:15
演 目	①	①	②	②	①	①	②

※今後の状況によっては変更する場合もございます。HP等でお知らせいたします。



### 新商品のご紹介 「たか&とし」グッズに 新アイテム登場!

維新ふるさと館の公式キャラクター「たか&とし」のグッズに新商品が仲間入りしました。

「たか&とし」のキャラクターデザインがプリントされたビニール傘と布製マスク。どちらも維新ふるさと館でしか手に入らないオリジナル商品で、普段使いに便利なアイテムです。

ぜひ、当館へお越しの際はお買い求めください。



ビニール傘

これがあれば、  
雨の日が楽しくなりそう!  
■定価:1,000円(税込)



布製マスク(M,L)

Tシャツ生地で作られて  
いて、肌触りが柔らか。  
■定価:500円(税込)



明治維新を分かりやすく、楽しく

維新  
ISHIN  
2020 SUMMER  
維新ふるさと館情報紙/No.33

## 黒田清輝、 桜島の噴火を描く

(鹿児島市東千石町)



大正3年(1914)1月12日、午前10時  
過ぎ、大音響と共に安永8年(1779)  
以来135年ぶりに桜島が大爆発を起  
しました。11日以来地震が頻発、12日の  
午前8時ごろ桜島中腹から白煙が上がり、10時過ぎには、  
大音響とともに横山・黒神の山腹から火柱が立ち上  
り、桜島の形も分からぬほどの噴煙が立ちこめました。

当時約2万人余が暮らしていた桜島では人々が先を  
争って海岸に避難、焼け石や灰が雨のように降り注ぐ中、  
鹿児島市から駆け付けた多数の船に救助されました。

翌日から火碎流を伴う噴火が発生して溶岩が流出、  
西側の集落が全焼しました。また、東側から流出した溶  
岩によって瀬戸海峡が埋め立てられ、29日には大隅半  
島と陸続きになりました。

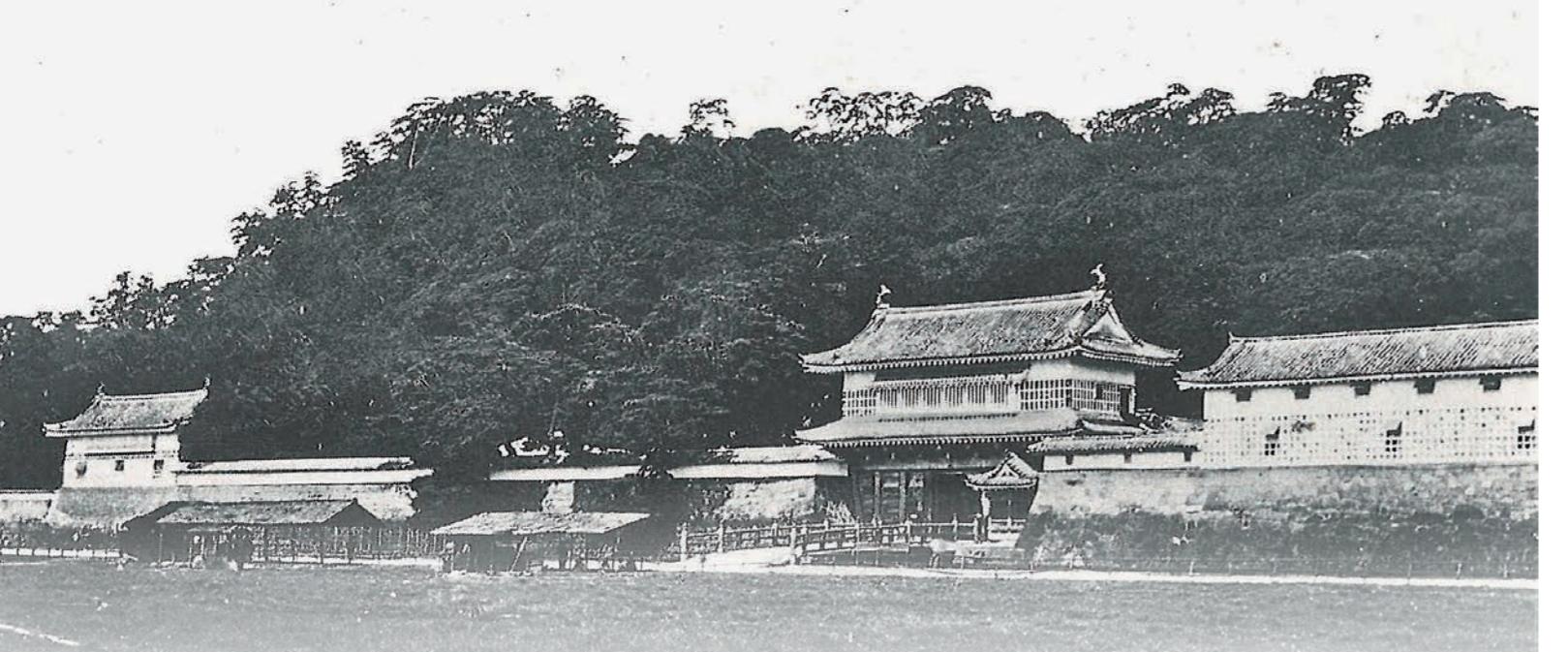
この状況を目撃したのが、たまたま義父の病気見舞い  
に来鹿していた洋画家の黒田清輝でした。黒田は早速  
弟子と共に時と所を変えて写生し、のちに「桜島噴火連  
作6点」(噴煙・噴火・溶岩・降灰・湯気・荒廃)として完成  
させました。(鹿児島市立美術館蔵)

黒田清輝は、慶応2年(1866)に生まれ、この像のある  
場所(現:東千石町)に屋敷のあった伯父清綱の養子と  
なり、法律を学ぶため19歳でフランスに留学しました。

しかしパリで画家への転向を決意、帰国後は日本に  
洋画を定着させるため、洋画研究所開設や内国勧業博  
覧会への出展、印象派の影響を取り入れた白馬会の發  
足などに尽力しました。

明治29年(1896)東京美術学校に西洋学科が開設  
されると教員となり、以後の西洋画の動向を決定する  
こととなります。黒田は女性裸体を用いて抽象的表現を追  
求しながらも自然な感じのスケッチ風の絵画など多くの  
名作を残し、日本の近代西洋画の確立に大きく寄与しま  
した。

ちなみに、石川静正が西郷隆盛の肖像画を描いて権  
山資紀に批評を求めたところ、権山は黒田を紹介、黒田  
は肖像画家の佐藤均を紹介して肖像画が完成したとの  
エピソードがあります。



## 鹿児島城(鶴丸城)築城と御楼門

鹿児島城は、薩摩藩初代藩主・忠恒(家久)が関ヶ原合戦後の慶長6年(1601)頃に築城を始め、10年以上の歳月を費やして完成しました。鹿児島では「人をもって城となす」との考え方から天守閣や望楼を持たない屋形づくりの城としたと言われています。

当初は城山山頂の「上山城」を詰城(本丸・二ノ丸)とし、麓に居館を築く山上山麓一体型の城郭としましたが、その後上山城を廢城とし、麓の居館部分を政務の中心としました。江戸時代後半には藩主の居館を本丸、その西側に二ノ丸を築きました。鹿児島城築城後は、徐々に城下を埋め立てて新地を築造、武家屋敷や町人屋敷などを広げ城下町としての機能を待たせるようになりました。

ちなみに「鶴丸城」というのは愛称で、背後の城山の形が鶴が舞っているように見えたとか、鶴が羽を広げたように城下町が形成されていったなどの説がありますが、一般的には鶴丸城の名称が通りがよいようです。

鹿児島城の大手門が御楼門で、城郭などとは独立した建物なので御楼門と呼ばれ、北の方に御兵具所が続き、南の方に隅櫓がありました。慶長11年(1606)に建設を始め、天保14年(1843)ごろ建て直されますが、明治6年(1873)原因不明の火災で本丸と共に焼失、明治10年(1877)には二ノ丸も焼失しました。その後、本丸跡地に鹿児島県歴史資料センター黎明館、二ノ丸跡に県立図書館が建設され、令和2年(2020)3月、御楼門が再建されました。

## 鶴丸城跡に御楼門完成

御楼門の建設は、平成25年4月、民間の「御楼門復元検討委員会」による復元に向けた方向性の提言がなされ、その後発足した「鶴丸城御楼門復元実行委員会」により、企業や個人に対して寄附金の募集が開始されました。

県は、集まった寄附金を樓門の復元に必要な経費の財源に充てることを目的として、平成26年3月、「鶴丸城樓門復元協力寄附金基金」を設置しました。

平成27年2月には、民間主導の新たな官民連携事業として、「鶴丸城御楼門建設協議会」が設立され、平成30年9月から建設工事に着手し、令和2年3月に御楼門は完成しました。

この間、薩摩藩の宝暦治水の偉業を縁に県と姉妹県盟約を結ぶ岐阜県で、両県の絆を一層深めよう「鹿児島県との友好の証プロジェクト実行委員会」が設立され、同委員会から御楼門の部材として岐阜県産のケヤキが提供される取り組みなどもありました。



風格ある佇まいの御楼門(鹿児島県文化振興課提供)

## ■イベント 維新演劇シアター 開幕



▲昨年の様子

昨年度、鹿児島の歴史を分かりやすく楽しくお届けしてきた「維新演劇シアター」、今年度も開催します。

このお芝居は、史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を役者扮する鹿児島のゆかりの偉人たちが身近に分かりやすく語ることで、楽しく学べるものになっています。

先人たちの歩んできた幕末・明治維新の歴史に思いを馳せ、足跡をたどりながら、時空を超えて明治維新を楽しく体感できる充実した内容です。皆様のお越しをお待ちしております。

### 上演スケジュール

〈ステージは全て日曜日上演〉※1月2日(土)を除く		
2020年	8月	9・16・23・30日(4回)
	10月	4・11・18・25日(4回)
	11月	1・22・29日(3回)
	12月	27日(1回)
2021年	1月	2・3日(2回)

〈上演時間〉 上演日の12:30~13:00(30分間)  
〈会場〉 維新ふるさと館 地下「維新体感ホール」

### 〈体験内容〉 会期中の下記日程に開催／所要時間20~30分、随時対応

- ①「おりがみあそび」 四季折々の折り紙や昔あそびの展示、おはなし会などを通して、鹿児島の歴史や文化について学んでみませんか?
- ②「わらべうたと昔あそび」 おはじきあそびなど季節の昔あそびを体験
- ③「ことばあそびうた」 鹿児島弁の魅力や偉人を紹介するおはなし会

### 会期 2020年8月5日(水)～8月30日(日)

第1回	8(土)	③「ことばあそびうた」	22(土)	①「おりがみあそび」
	9(日)	②「わらべうたと昔あそび」	23(日)	29(土)
	15(土)	①「おりがみあそび」	30(日)	③「ことばあそびうた」
	16(日)			

### 会期 2020年12月18日(金)～2021年1月7日(木)

第2回	19(土)	①「おりがみあそび」	26(土)	①「おりがみあそび」
	20(日)	②「わらべうたと昔あそび」	27(日)	③「ことばあそびうた」

### 会期 2021年2月10日(水)～3月3日(水)

第3回	13(土)	③「ことばあそびうた」	21(日)	②「わらべうたと昔あそび」
	14(日)	①「おりがみあそび」	27(土)	①「おりがみあそび」
	20(土)		28(日)	

### 会場

維新ふるさと館1階 あそんでみやんせコーナー

## ■イベント 第13回 西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展 開催

今年も広く市民から募集した西郷関連の書道作品展を、西郷が没した9月24日をはさむ30日間、下記の日程で開催いたします。毎年県内外から力作が揃い、たいへん見応えがありますので是非、ご来館ください。

〈展示日程〉 2020年9月23(水)～10月22日(木)

〈会場〉 維新ふるさと館

※募集要項を当館HPに掲載しております。



▲昨年度の大賞作品

▲全国から力作が揃います